

平成 2 6 年度

第 1 回千葉市農業委員会農業振興部会議事録

千葉市農業委員会

千葉市農業委員会農業振興部会議事録

平成26年4月28日千葉市農業委員会農業振興部会長 伊原 茂久 は、平成26年度第1回農業振興部会を千葉中央コミュニティセンター8階会議室「千鳥・海鷗」に招集した。

<会議に付した議事>

平成26年度農業関係機関の事業計画について

- ・千葉県千葉農業事務所
- ・千葉みらい農業協同組合
- ・千葉市経済農政局農政部

<出席委員> (17名中16名)

1 番 野 崎 好 知	2 番 齊 藤 元 治
3 番 長谷川 政 美	4 番 花 島 豊 勇
5 番 茂手木 直 忠	6 番 山 浦 衛
7 番 島 田 勝 雄	8 番 面 郡 高 夫
9 番 高 澤 義 信	10 番 伊 原 茂 久(農業振興部会長)
11 番 小 川 清 一	12 番 小 川 友 安
14 番 浅 川 常 彦(農業振興部会長職務代理者)	
15 番 小 川 正 義	16 番 市 原 孝
17 番 田 中 和 夫	

<欠席委員>

13 番 水 野 富士夫

<関係機関説明員>

千葉県千葉農業事務所	改良普及課長	新 井 洋 子
千葉みらい農業協同組合	指導経済部長	加 藤 康 幸
千葉市経済農政局	農 政 部 長	角 田 勝 美
農政センター所長(農業経営支援課長事務取扱)	農 政 課 長	青 木 茂
農業環境整備課長	農業生産振興課長	子 安 尚 登
農業経営支援課担当課長(都市農村交流室長)	農政課長補佐	圓城寺 英 樹

<事務局説明員>

事務局長	山 崎 哲 保	事務局次長	楠 原 弘
事務局次長補佐	御 園 えみ子	農業振興係長	小 川 剛
主 査 補	中 澤 和 美	主 事	駒 井 和 陽

議 長 (伊原部会長) 千葉県千葉農業事務所改良普及課長	(開会10:30) それでは、ただいまより平成26年度第1回農業振興部会を開会いたします。 議事進行について、皆様のご協力をお願いいたします。 本日の出席委員は17名中16名ですので会議は成立しております。早速、議事に入らせていただきます。 日程第1「議事録署名人の選出について」でございますが、議席順となっておりますので、私より指名させていただきます。 議席番号 14 番 浅川 常彦 委員 議席番号 15 番 小川 正義 委員 のご両名をお願いいたします。 続きまして、日程第2「平成26年度農業関係機関の事業計画について」でございます。 本日は、本年度、最初の部会でございますので、今後の部会活動の一助とさせていただくため、農業関係機関の皆様には本年度の事業計画などについて、ご説明いただきます。 それでは、千葉県千葉農業事務所 新井 様お願いします。 最初に、資料1－①「平成26年度 普及計画活動の概要(課題と対象一覧)」をご覧ください。 初めに、普及課の業務について、説明させていただきます。 第一に、「担い手支援」が大きな仕事のひとつとなっています。若い青年農業者への支援。バリバリ働く40・50代、60代の支援。そのパートナーである若い女性農業者をはじめ、女性農業者への支援。新規参入者、定年帰農者への支援等様々な方への担い手支援を行っています。 次に、産地育成につきましては、千葉県は農業産出額が、北海道、茨城県に次いで第3位を誇っていますが、千葉の園芸産地は県内産出額の約半分を占めるということで、特に千葉県では、園芸産地の強化に力を入れているところでございます。 三つ目には、地域振興に関わる課題。都市的地域の特徴を活かした体験農業、直売所等への支援を行っております。千葉農業事務所おきましては、千葉みらい農業協同組合、千葉市農政部、農政センターをはじめ各部署と、協力しながらやっているところでございます。
--	--

	職員ですが、私をはじめ21名でやっております。千葉市を担当させていただいている千葉グループは6名です。 千葉市の育成方向ですが、「農業の持つ多面的機能を活用し、市民の力を農業に取り込みながら、千葉市農業を支える多様な担い手を育成し、農業の効率利用の促進と産地及び個別経営体の体質強化を図る」という目標を掲げております。 具体的な課題と対策ですが、一つに「安定した生産力を目指す都市近郊の野菜産地」ということで、先ほど、園芸強化を県として力を入れていくとお話しましたが、資料の1－②をご覧ください。 千葉市は大きな園芸、野菜産地として、幕張地区、東部地区、土気地区とございます。 今年、農協、千葉市役所と一緒にやらせていただこうと思うのが、一つ目に土気地区。「秋冬にんじん」の産地でございますが、「わけねぎ」が販売額第2位となっており、わけねぎの産地を更に強化させていただこうと。にんじんは、非常に重量物でございますが、わけねぎは、軽量野菜ということで、高齢化してもできる野菜の一つとして提案させていただいているところです。もちろん「秋冬にんじん」についても、品質向上対策に取り組んでいるところです。ねぎについては、出荷調整に多くの時間を要するので、どう効率的にしたらよいかを課題として取り組んでおります。 二つ目に、幕張地区出荷組合連合会につきましては、「春夏にんじん」の大きな産地ですので、にんじんの品質向上対策。本日も職員が害虫「ひょうたんぞうむし」がどれくらい発生しているか調査に出ており、にんじんの品質向上に努めております。 東部地区につきましても、「秋冬にんじん」の産地ですので、品質向上対策に取り組んでおります。 それから、「農業基盤を守る地域の営農の仕組み作り」ということで、資料1－①でございます。「効率的な水田営農技術の導入による大規模経営体の育成」ということで、千葉市農政センターで事務局をされていますが、14ある営農組織で千葉市の水田の30%を担っているということで、この組織を更に強化し、大規模農家も増えていますので、その支援をさせていただいているところです。 また、経営者能力の向上とリーダー育成による多様な担い手づくり。これは、千葉市、習志野市、八千代市、市原市、全市共
--	--

	通で対応させていただいております。 一つ目に5月27日に開講式を予定しております農業経営体育成セミナーについて、「若い農業者を応援しています」という資料がございますが、今、就農者の年齢の幅が広がっております。新規就農者の割合を見ますと、一度就職してから農業に戻る人の割合が4割弱と多く、また、年齢も30歳を超えている方が多い状況で、即戦力になっていただけるような知識・技術の提供を心がけ、3年間のカリキュラムを組んでいます。1年目は、基本研修。2年目は専門研修。3年目は、総合研修といたしまして、これから農業者として一人前になっていくための経営改善計画をきちんと立てていくという内容で組んでおります。 そのほか、農業経営体育成セミナーを卒業された方についても、フォローアップができるように、25・26年については畜産の若い青年。26年については、いちご農家に対する支援をさせていただくことを考えております。 女性農業者については、若い農業者と一緒に経営者として発展してもらうため、女性農業者の支援をさせていただいております。 そのほか経営体育成の支援ということで、畜産ですとか、各個別経営体ごとに支援をさせていただいております。 以上で、千葉農業事務所として、「産地育成・担い手育成」に力を入れていきたいと思っております。ご協力お願いいたします。
議 長 (伊原部会長)	ありがとうございます。続きまして、千葉みらい農業協同組合加藤様お願いいたします。
千葉みらい 農業協同組合	資料2(平成26年度第13回通常総代会提出議案)の80ページをご覧ください。 まず説明の前に、今回の総代会におきまして「JAいんば」との合併が8月1日ということで、承認されています。今後の予算の中にJAいんばとの合計金額が入っていますので、申し添えておきます。 平成26年度の事業計画でございます。 基本方針につきましては、本年度は第5次の中期経営計画、地域農業振興計画の2年目にあたるということで、両計画の実践に入るところでございます。 経済事業では、「専門員による組合員への定期的な巡回指導

	を行い、意見・要望に対して総合的な営農支援活動に努める。」 こちらにつきましては、農業顧問を本店に2名、しよいかーごに2名、ふるさと農園に1名。5名体制で巡回指導を行っています。 また、職員もレベルアップを図るため、全農等の研修に参加して独り立ちできるような体制をとっています。 担い手対策では、「担い手への全戸巡回相談活動を通じ、担い手の育成・確保・支援を行うとともに農用地利用集積円滑化事業による農地貸借を進め、地域農業の発展に努める。」 こちらにつきましては、農地貸借の実績を後程ご案内させていただきます。 直販事業では、「しよいかーご千葉店・習志野店を地産地消の拠点として、より多くの出荷者にご利用いただき、所得の向上をはかっていただくとともに、消費者の皆様には、「安全・安心・新鮮」な農産物を提供してまいります。」 おかげさまで、しよいかーご習志野店をオープンして2年。2店舗となり、津田沼駅ではアンテナショップを進めておりまして、昨年は20億円を超える実績まで上がってきました。まだまだ、地元野菜が少ないので、各関係機関と共に周年栽培が出来る体制を是非お願いしたいと思います。 81ページ、「事業方針及び事業実施計画」の指導事業でございます。 重点実施事項は、3点ございます。 1点目は、「コスト削減をはかり、周年栽培の普及・契約栽培に取り組みます。」 2点目は、「生産履歴記帳の精度向上を目的にGAP(生産工程管理)手法を推進し、より高い安全性を目指します。」 3点目は、「農薬飛散防止の徹底と残留農薬の自主検査、栽培講習会を積極的に行います。」 事業収支計画ですが、前年度実績は、JA千葉みらいのみの実績。本年度の計画はJA千葉みらいの1年分の実績とJAいんばとの合併により、JAいんばの8～12月分の合計となっています。 「営農改善」につきましては、産地造成や、後継者育成費用を計上しています。1,029万円。 「生活改善費」につきましては、1,248万5千円。 「組織強化」につきましては、組織の育成、協同活動、また、実行組合長の活動費等入っています。2,113万9千円。
--	--

	「農政活動」につきましては、農政活動費、担い手の育成費、大きく金額を占める価格安定事業費が入っています。1,082万円。 また、「教育情報」、「その他」を含めまして、合計で7,330万1千円となっております。 続きまして、「担い手対策事業」でございます。 重点実施事項は、3点ございます。 1点目は、「積極的な販売農家への全戸巡回相談活動や担い手農業者への訪問活動に取り組み様々な意見・要望等に対応し、更なる信頼関係の強化に努めます。」 これは昨年度より、JA千葉みらいを通じて販売している農家、しよいかーご出荷者、米生産者、約1,150戸ございますが、定期的に回ろうということでございます。 2点目は、「農業後継者などの担い手や新規就農者への農地集積や規模拡大、農地の確保に取り組み、遊休農地の拡大防止・解消に努めます。」 千葉みらいにつきましては、円滑化団体になっておりまして、農地利用集積円滑化事業目標30haを掲げてまいります。 3点目は、「将来の担い手となりうる後継者・新規就農者への巡回活動を進め、支援・育成に努めます。」 こちらにつきましては、全農とのタイアップによりまして担い手対策費用として、段ボール購入の助成等を行っております。 続きまして82ページ、「販売事業」でございます。 重点実施事項は、3点ございます。 1点目は、「農産物フェアの販売促進を行い、千葉みらい産農産物PR活動に努めます。」 こちらにつきましては、共同販売が主なところになりますが、にんじんににつきましては、当JAでは春夏から、秋冬のにんじんまで年間を通して販売できる体制でございます。こちらのPR活動に努めてまいります。 2点目は、「青果物の契約出荷等の販売により安定した所得確保に努めます。」 こちらにつきましては、契約または、加工の契約を年々増やしておりまして、1反歩あたりどのくらいの金額になるかを組合員にはわかるということを進めています。 3点目は、「直売所やインショップでは、地場農産物の品揃えと「安全・安心・新鮮」を目指した地域に即した販売体制づくりに
--	--

	努めます。」 特にインショップ関係につきましては、新規にイトーヨーカドー東習志野店、幕張店、蘇我店、この辺が大きなウエートを占めております。事業目標としては、千葉みらいで15億円と設定させております。 83ページ、「直販事業」こちらはしよいかーご関係でございます。重点実施事項は、3点ございます。 1点目は、「圃場巡回指導の強化(全戸巡回相談活動)をはかります。」 先ほどの「販売事業」、「担い手対策事業」にも出てきましたが、しよいかーご出荷者を定期的に巡回・相談しようというものです。 2点目は、「加工品出荷者へ衛生管理の徹底と高品質化をはかります。」 こちらは、保健所等とタイアップして安全・安心なものを販売しようというものです。 3点目は、「出荷者の充実をはかり、出荷登録者を拡大していきます。」 まだ、地場農産物が足りません。1,000名という出荷登録者を目指しています。もう少しというところまでできておりますが、今後も更なる登録者拡大を目指していきます。 しよいかーご3店を合わせた目標ですが、20億3,500万円でございます。 続きまして、84ページ「購買事業」でございます。今までやってきた事業の生産を上げるにはどうしたら良いかということの販売事業でございます。 重点実施事項は、3点ございます。 1点目は、「普及型生産資材の低価格品の普及拡大に努めます。」 特に近年、肥料・農薬の価格が高騰しております。こちらについて、低価格で対応できる資材が何点かございます。 また、農薬につきましてもジェネリックのような資材が出ておりますので、そういうものも導入したいと思います。 2点目は、「営農指導と連携した肥料・農薬の適正使用や安全使用の普及拡大に取り組みます。」 こちらは、農政センターに依頼しております、「土地の土壌調査等」を本年も進めてまいります。それによる適正な肥料の施肥
--	--

議 長 (伊原部会長) 農政部長	の取り組みをさせていただいております。 3点目は、「プライベートブランド新商品の提案・企画に取り組みます。」 こちらについては、「にんじんジュース」おかげさまで大変好評をいただいておりますが、さらなるブランド品の開発を進めてまいります。 本年度の事業目標でございますが、千葉みらい地域本部として10億5千万円と設定させていただきました。 農協からは以上でございます。 ありがとうございました。続きまして、角田農政部長お願いいたします。 平成26年度千葉市農政部事業計画についてご説明します。 初めに、「千葉市農政に関する建議書の反映状況」についてご説明します。資料3-①をご覧ください。 1 「農業経営の安定」について、 (1)「経営者意識の向上に対する対策」につきましては、農業関係機関・団体で組織する「千葉市農業経営改善支援センター」による訪問指導や、経営改善に向けた講習会等を開催するもので、これらの事業について54万6千円を予算計上しています。 (2)「安全・安心な農畜産物の消費拡大及び販路の多様化の要望」につきましては、「千葉市産農産物生産者認証制度」に基づき、一定要件を満たした生産者を認証するとともに、「千葉市産シンボルマーク」を表示して、新鮮で安全・安心な市内産農畜産物のPRと消費拡大を推進します。 また、生産者に直売所やインショップへの出荷を働きかけるとともに、店舗側にインショップコーナーへの設置を働きかけ販路拡大に努めます。これらの事業費として、合わせて317万8千円を予算計上しています。 (3)「6次産業化への支援」につきましては、国の「6次産業化総合化事業計画の認定」に関する支援を行います。 2 「担い手の確保と就農支援の促進」について、 (1)「農地の確保や機械・施設整備の支援及び、営農指導の充実」につきましては、「農地の確保」において、農業委員の皆様方及び、農業委員会事務局にご協力を頂いており、今後も引
------------------------------------	---

	き続きご支援をお願いいたします。 また、「新規就農者の農地の確保」につきましては、研修受け入れ農家のご協力を頂きながら確保に努めていきたいと思えます。 「農業機械・施設の整備」につきましては、国の融資制度や市の補助事業で支援していくとともに、市ホームページ及び農政課窓口で農業機械の貸借・譲渡について情報提供を行っております。 「営農指導」につきましては、定期的な巡回指導により、指導・助言の充実強化を図ってまいります。 このため、主な事業「農業生産団地育成事業」の事業費として1,539万7千円を予算計上しています。 さらに、「あととり支援」として、重点的に取り組むものと位置付け、「あととりスキルアップ研修」を実施し、支援に努めてまいります。事業費として7万1千円を予算計上しています。 (2)「農業後継者の人・農地プランへの位置付けによる支援と担い手相互の意見交換と情報共有のための環境整備」につきましては、農業後継者を「地域を中心となる経営体」に位置付け、青年就農給付金による支援を行います。 また、引き続き若手農業者同士のネットワークづくりを目指します。これら合わせて、1,804万円を予算計上しています。 3 「耕作放棄地対策の推進」について、 (1)「市独自の取り組み」につきましては、ホームページの「遊休農地情報」によるマッチングを図るとともに、「地域農業振興部会」の活用や「人・農地プラン」により農地の利用集積を促進し、耕作放棄地の発生防止に努めてまいります。 (2)「自走式草刈機の増設や、休耕農地整備事業の拡充」についてですが、自走式草刈機の貸し出し台数を増やすとともに、市や国の補助事業を活用して、農地の再生利用を促進します。 「耕作放棄地整備促進事業」として、31万5千円を予算計上しています。 (3)「景観形成作物等の種子配布事業」につきましては、「美しい村づくり推進事業」として、40万2千円を予算計上しています。 4 「営農環境の整備と保全」について、 (1)「有害鳥獣の有効な防除対策」につきましては、平成26年2月に設置した、千葉市鳥獣被害防止対策協議会による総合的
--	--

農政課長	な被害対策を行うとともに、被害実態を把握し、状況に応じた効果的な対策を検討します。 なお、千葉市鳥獣被害防止計画の見直しにより、ハクビシン等並びにイノシシに加え、新たにカラスの被害対策を追加します。「有害鳥獣対策事業」として、200万円を予算計上しています。 (2)「イノシシの被害防除に関する情報の周知・提供」につきましては、イノシシの出没場所の特定や、被害状況の収集に努め、地域ぐるみの被害防止対策を推進します。 (3)「農業用排水施設の改修費用の支援」につきましては、農業用排水路の維持補修や、農業用井戸改修などに係る経費を助成します。これらを合わせて、417万6千円を予算計上しています。 建議書に対する予算の反映状況は、全体で4,412万5千円となっております。 続きまして、農政部予算関係についてご説明いたします。 資料3－②をご覧ください。 「平成26年度当初予算総括表」で、ご説明させていただきます。 初めに一般会計でございますが、農政部の平成26年度一般会計予算額は8億5,029万1千円で、前年度と比較しますと、20,438千円、2.3%減となっております。 次に、特別会計予算額は、4億8,850万7千円で、前年度と比較しますと、1,837万円、3.6%減となっております。 私からの説明は以上でございます。この後、平成26年度予算の主なものにつきまして、所管から説明いたします。 資料3－②の2ページをご覧ください。 農政課の予算は、農政審議会運営費のための農業総務費のほか優良農地保全集積事業などの農業振興費がございます。 農政課の主な事業についてご説明いたします。 一つ目は、農業振興費：都市農業対策の「観光農業推進」の70万円ですが、高齢者や身体の不自由な方に対応するため、観光農園が障害者用のトイレを設置する費用を補助するもので、今年度は若葉区の観光農園1か所への助成を予定しております。 二つ目は、「市民農園育成」の60万円ですが、農地の保全と
-------------	---

農政センター所長	市民が農業に触れ合える場を提供するために、市民農園を整備する費用を補助するもので、2か所の助成を予定しております。 三つ目は、環境保全型農業推進:「地産地消」の71万円ですが、地元で生産された農産物を地域で消費し、生産者と消費者の結びつきを強化するため、キャンペーンの実施や、教育委員会と連携し、食と農との理解を深めるため小学校で実施する「生産者出張事業」などを行うための経費でございます。 四つ目は、優良農地保全集積事業:農用地利用増進300万円ですが、農地の流動化と有効利用、農家の経営安定を図るため認定農業者などの一定要件を満たす農地の貸借や売買に対し、期間や面積に応じて助成するものでございます。 五つ目は、多面的機能支払交付金事業でございますが、昨年度まで「農地・水保全管理支払」として行われてきたものが、今年度より制度の組み替えが行われ「多面的機能支払交付事業」として変更されたもので、農業環境の保全を図るため、農道の草刈りや水路の泥上げなどの共同活動に対して支援するものでございます。 なお、制度が創設された平成19年度には12地区が共同活動に取り組んでおりましたが、地区の統廃合などにより、現在は6地区がこの共同活動に取り組んでおります。 農政課の説明は以上です。 農政センターは、資料3-②の3ページ「農業経営支援課」、4ページ「農業生産振興課」の2課にまたがって事業を行っております。 農業経営支援課についてご説明させていただきます。 資料3-②の3ページ、主な事業としまして、全体では、1億9,500万3千円。この内、約5,000万円ずつ3つの事業がございます。 小事業「いずみグリーンビレッジ事業費」5,500万円。これは、若葉区のいずみグリーンビレッジ地区に「都市農業交流センター」が3か所設置されております。ちょうど今、芝桜で賑わう「富田都市農業交流センター」、市民農園の利用率が回復している「中田都市農業交流センター」、四街道市からの入口にございます「下田都市農業交流センター」、こちらの方では、直売所と地元の野菜を使ったレストランが運営されております。こちらの事業経費が5,500万円でございます。
-----------------	---

農業生産振興課長	「ふるさと農園管理運営」、平成2年に三角町に建設されました、ふるさと農園の管理費が5,300万円でございます。しかし、施設が老朽化しまして、茅葺屋根施設の雨漏り等が発生しておりますので、今後こちらの修復等を考えております。 「農政センター管理費」、こちらは全般的に農政センターの維持管理をする経費でございます。 主にこの3つの経費が、5,000万円ずつ、1億5,000万円ほどかかっております。 その他、主なものとして「森林振興対策事業」がございます。小事業では5つの事業がございますが、昔と違い、林業が成り立っていませんので、荒れてしまった森林等の管理を進めるための経費でございます。これが、1,100万円。 「農業経営振興事業」の中の「新規就農の推進」これが、2,100万円でございます。平成24年度から国の事業で人・農地プランの作成に取り組んでおります。新規就農者の要件を全て満たすと、1年間1人あたり150万円の支援が受けられます。24年度から3年間の合計で、35人の方。3,800万円ほどの支援になります。今後、市の財政も非常に厳しいので、国の支援を受け入れながら支援をしてまいりたいと思います。 「有害鳥獣対策」でございます。特にイノシシについては、千葉県からも、隣接する市原市で目撃情報、被害情報があり、千葉市でも取り組んで下さいということで、25年度から中心的に取り組んでおります。26年度については、すでに幕張のにんじん地区が、カラスの被害が多いということで、市ではこれまであまり対策を講じてきませんでした。一部で取り組ませていただいております。こちら国も国の交付金をいただいて取り組んでいる事業でございます。 農業経営支援課につきましては、以上でございます。 農業生産振興課についてご説明させていただきます。 資料3-②の4ページ、概要、主なものについてご説明させていただきます。 「水田農業振興事業」のうち、「水稻共同防除」255万9千円。効率的なコメ作りの生産振興を図るため、水稻の病害虫共同防除に対し、支援を行うものでございます。今年度は、防除計画面積605ha。受益戸数1,250戸を予定しております。 「環境保全型農業推進」246万8千円。環境への負荷の軽減
-----------------	---

農業環境整備課長	に配慮した持続的な農業を推進するとともに、消費者に新鮮で安全な地場農産物を安定的に供給するため、「土づくり」を基本とした環境保全型農業に取り組むものでございます。土壌及び養液診断を今年度、約1,300検体を予定しております。 「農政センター管理運営費」3,477万1千円。これは、農政センター内の施設を利用し、バイオテクノロジーを利用したウイルスフリー苗の増殖。優良種苗の生産供給及び、栽培試験。また栽培試験や実証展示に基づく、新規導入作物等の技術指導の実施に活かしていく予定でございます。 「乳牛育成牧場管理運営」5,345万9千円。酪農の振興を図るため、優良資源の確保と、受精卵移植による乳牛の改良、増殖等を推進するものでございます。 農業生産振興課からは、以上でございます。 農業環境整備課についてご説明させていただきます。 資料3-②の5ページ、農業環境整備課の本年度の予算額、百万単位で、5億200万円でございます。前年度と比べ、1,900万円の減となっております。 農業環境整備課の主な仕事は、農地の基盤整備に関する事業が中心でございます。5億200万円の内訳として、「農業集落排水事業特別会計の繰出金」が、4億1,800万円。対前年度と比べ、2,200万円の減となっております。農業集落排水の事業内容については、特別会計の方で後ほどご説明させていただきます。 一般会計については、「農地費」8,400万円。主な事業は、「農業生産基盤整備事業」の「緑農住区開発関連土地基盤整備事業」といたしまして、椎名崎地区の道路整備を予定しております。 一般会計については以上でございます。 続きまして6ページ、「農業集落排水事業特別会計」についてです。総額は4億8,800万円。対前年度に比べまして、1,800万円の減となっております。農業集落排水施設特別会計については、整備が終了いたしておりますので、主に維持・管理経費です。昨年度は、資産台帳作成で、2,300万円の予算をいただいておりますが、資産台帳作成が終わりましたので、その分で、約1,800万円の減となっております。 農政部の説明は以上でございます。
-----------------	---

議 長 (伊原部会長)	ありがとうございました。 以上、関係機関の方々に平成26年度の事業計画についてご説明いただきました。 ただ今の説明につきまして、ご質問等ございましたらお願いします。
小川清一 委員	いずみグリーンビレッジ構想が終了したようだが、どうなっているのか教えていただきたい。
農政センター所長	いずみグリーンビレッジ構想は、先ほど3拠点を説明しましたが、元々5つの拠点という構想がございます。今のところ3つまでしか整備されていませんが、残りの2つをどうするかは、まだ決定されておりません。現在の財政状況等をみると、新たなハード整備は考えられないと思います。地元の人と話し合いを進めておりまして、今あるものを活用できないかということで、残る2つの拠点の内、1つは大池の周辺の拠点。もう1つは農政センター周辺の拠点ということで、この2つの資源を使いながら都会からお越しいただくことができないか、ということで進めております。
小川清一 委員	農政センターよりも、泉自然公園を利用したら良いという意見があるが。
農政センター所長	泉自然公園については、大池の周辺で地元の方の直売ができないかという協議をさせていただいております。桜の時期に、泉自然公園の利用者が多いということで、そこから流入できないか検討させていただきたいと思います。 また、農政センターから「都市部のつながり」ということで、今年度から新たに「市民農園利用者養成講座」というものを、農政センター内の敷地を使って始めました。申し込み開始前は心配でしたが、ふたを開けてみしたら評判がよく、30区画全て埋まり、現在36区画を園芸協会にご協力を頂き、新たな事業として進めており、農政センターとしてやり方を含め検討し、結び付きを持ちたいと思います。
長谷川 委員	「平成26年度予算における千葉市農政に関する建議書の反映状況」についてですが、「農業経営の安定(農業経営基盤強

	化促進対策事業)」の予算が、54万6千円と少ないように思いますので、理由を教えてください。 それと、「あととりスキルアップ研修」の予算が7万1千円と少なく、この予算であととりできるのかと思います。 また、「農政部予算関係資料」4ページの「流通体制確立対策（野菜価格安定対策）」が約700万円減額され、ずいぶん少なくなっていますが、この予算でいいのでしょうか。
農政部長	「農業経営基盤強化促進事業」の件ですが、農地の貸し借りに対する経費が大半で、ハード面は42万5千円。この事業は、「千葉市農業経営改善支援センター」による「認定農業者への指導」が主なもので、ソフト面は実質的に予算がかからないので、こういう形になっております。 「価格安定対策」ですが、これは基金を積み立てて価格の安定化をしています。前年度と比べ安定化対策の基金が十分にあるということでこの金額となっております。
農政センター所長	「価格安定対策」の補足説明ですが、前年度に比べあまり価格のずれ込みがなく、取り崩しがなかったため、予算の方は減額となっております。 「あととりスキルアップ研修」について少ない額ですが、今年度初めて取り組みます。普段、農政センターでは優良種苗の供給がありまして、中で研究・育成をしております。あととりの方に来ていただいて、そういった栽培作業の技術を磨いていただくものですので、農政センターとしましては、今までと経費は変わりません。この7万1千円で用意しますのは、新たな研修生のための図書類、参考資料を購入するための予算を計上しております。基本的にお金をかけず、あととりの方に役に立つよう取り組んでいくものでございます。 これだけでは予算が少ないというご指摘は、もっともでございます。これ以外では、経営安定のための農協等から借り入れる資金に対する利子補給はやっていますが、ここに入れておりません。新規就農の方への支援が、1人あたり150万円もらえる制度があります。これに比べると少ないので、次年度からの計画の中で検討していきたいと思います。
長谷川 委員	「あととりスキルアップ研修」は今までの予算でやっていくという

	ことですが、その予算はどこにあるのですか。
農政センター所長	7万1千円だけ新たに設けましたが、それ以外は、今まで職員が栽培、研究する経費の中にすべて含まれます。研修生の方は手持ち弁当、交通費も自己負担で来ていただきます。
齋藤 委員	「ふるさと農園の管理運営」についてお聞きしたいが、老朽化が進み、128万円増額ということで、施設のある一部を年度毎に補修していこうという考え方だと思いますが、古民家、長屋門にしても抜本的な補修、改修をするとすると、単位が全然違うと思いますが、古民家、長屋門、その他の施設について、市の方向性を教えていただきたい。例えば、補修は何億もかかるので無理だということであれば、そうお答えして頂ければ結構です。 基本的なふるさと農園の運営方針が、市で定まっているのかどうかを教えていただきたい。
農政部長	ふるさと農園の運営方針ですが、現在、市の内部、農政部で内部協議を始めました。今後の運営方針について協議に入っております。
農政センター所長	具体的なお話をさせていただきますと、26年度予算の中で、古民家、長屋門の屋根部分の修繕を予算要望しました。市の設計では屋根の修繕だけで、約2,800万円かかります。これが予算で獲得できませんでした。これも含めて、今後のあり方を今年度中に検討していきたいと思います。
齋藤 委員	早急に方向性を示していただければありがたいと思います。 それから、もう1点。県としても、市の全体予算としても、県にしてみれば、全国第2位を目指す農業県として、これから農業を発展させようという考え方をお持ちだと思いますが、全国第2位を獲得する予算としては、茨城県などと比べて少なすぎる。先立つものが無ければ、全国第2位を目指すというのは、無理だと思います。市の方も理由はあるにしても、毎年農政予算が削られている。これでは、農業振興を謳っている農業委員会としても、建議書を市にあげていますが、各予算がほとんど減額。その理由は先ほど聞きましたが、先立つものが無ければ、有害鳥獣にしても、担い手にしても、遊休農地の解消にしても進まないと思いま

議 長 (伊原部会長)	す。もう少し、農業予算に市として力を入れていただきたい。県も同じです。全国2位を目指すならば、それなりの予算を確保していただきたい。 以上です。 他にご質問がないようでございます。 本日は、千葉県千葉農業事務所、千葉みらい農業協同組合、市農政部におかれましては、ご多忙のところご出席いただき、ありがとうございました。今後とも、本市農業の発展のため、ご尽力くださいますようお願い申し上げます。 以上をもちまして、平成26年度第1回農業振興部会を閉会いたします。 (閉会11:35)
------------------------	---